



主題設定の理由



時代の要請
特別の教科「道德」となり、授業の質的変換が求められている

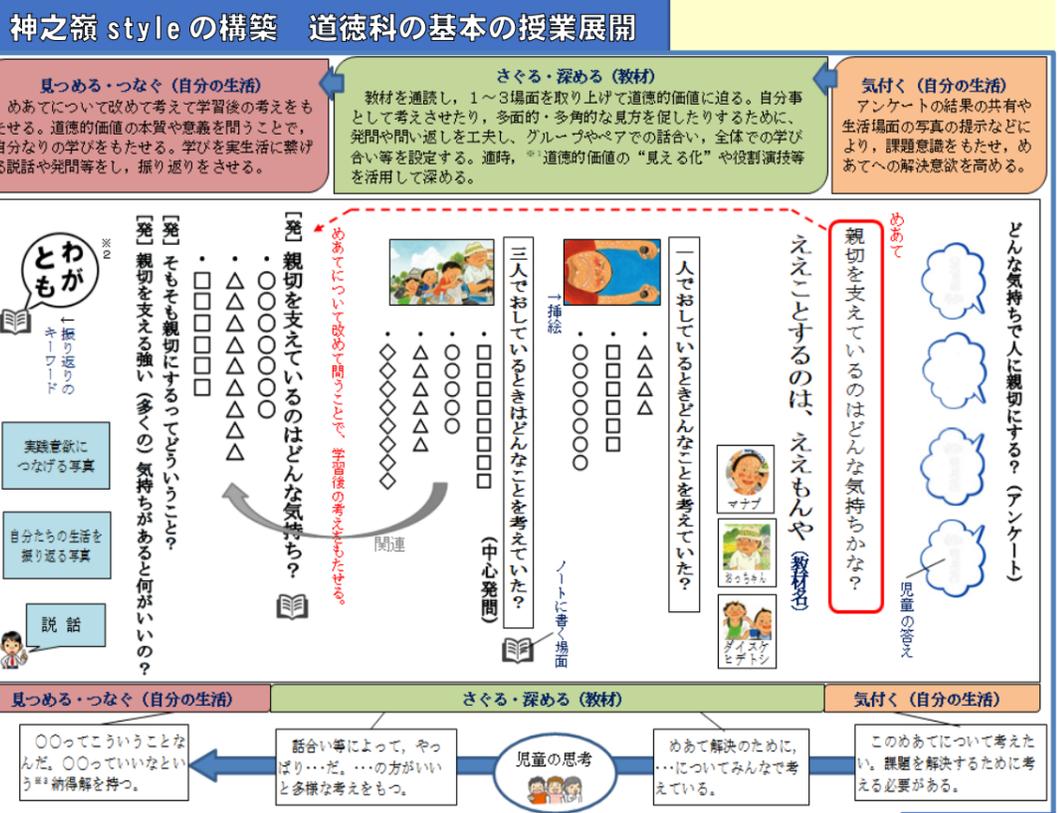
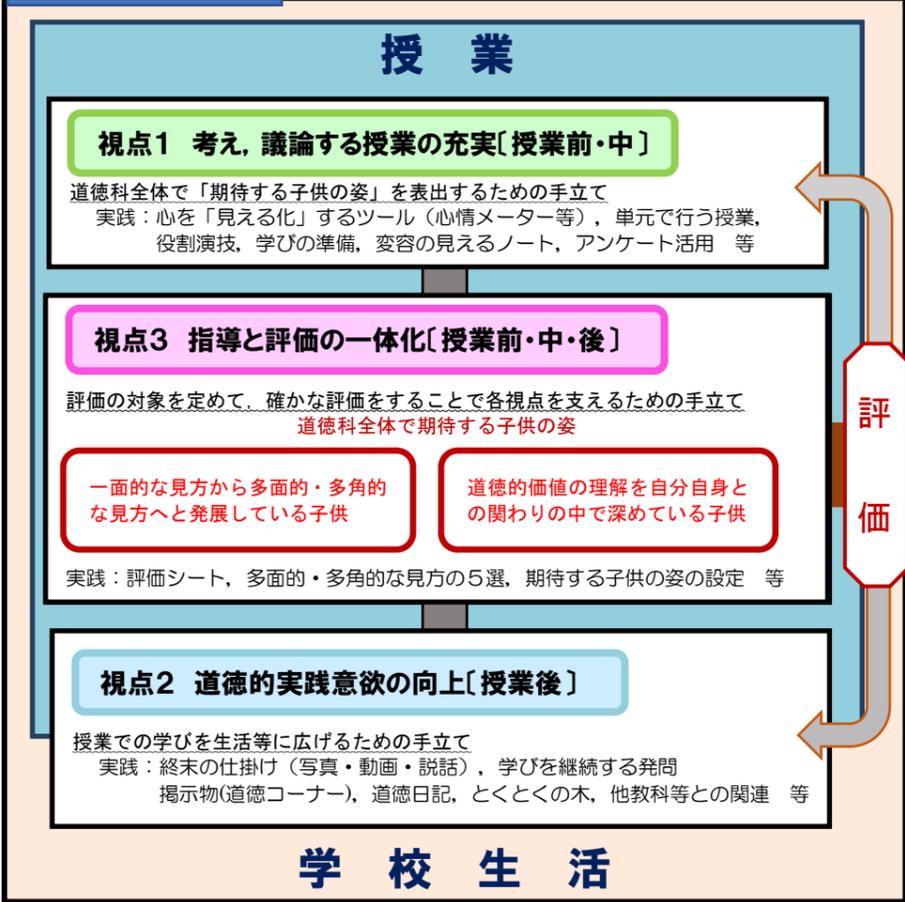
児童の実態
道德で学んだことを生活に生かせていない児童が多い



研究主題

考え議論する道德科を要とした道德教育の展開
～充実した授業と学びを生活等に応げる取組、これらを支える確かな評価を通して～

研究の構想図



公開研究会の様子



研修の俯瞰図 10の共通実践項



参加された先生方から

- 神之嶺 style, PRACTICE10, 即実践していきたいです。
- シンプルで初任からベテランまで分かりやすかったと思います。
- 「学びを生活に応げる」という、見取りにくいテーマを入れて研究されているのが参考になりました。
- 心情メーターがあることで、うまく言葉にできない子供も自信をもって意見を言えると思いました。
- 理論と実践の一体化が感じられました。しかも、多くの学校に持ち帰れるような実践でした。
- 児童がいきいきと議論をしていて、楽しんで学習しているのが伝わってきました。先生がたくさん話さなくても、いいタイミングで発問を投げかけたら、またさらに授業が活発になっていました。
- 子供たちの意欲と積極性があるって、主体的な授業だったなあと感じました。
- 授業の意図が、授業者の発言からよく伝わってきました。
- 小・中学校、違う立場の話し合いも、すごく勉強になりました。
- ワークショップ型だったので、意見交換がしやすくてよかったです。
- これまでの授業で活用した教材・教具が、体育館に展示してあり、参考になりました。